

# 魚類等防疫対策試験\*1

杉山昭博・蔵下 環

## 1. 目的

魚介類の種苗生産、養殖時に発生する疾病を調査研究して有効な対策を検討する。そして、安定した生産体制の確立をはかる。

水産試験場に持ち込まれたもの、及び現地サンプリングして検査した。

## 2. 方法

平成10年度魚病診断状況

## 3. 結果

平成10年度魚病診断状況

結果は表に示すとおりである。

表 平成10年度魚病診断件数（平成10年4月～平成11年3月）

魚種	魚病名	診断件数												計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
マダイ	イリドウイルス病 (イリドウイルスチェック)			3 (3)	2 (2)									1 (1)		6 (6)
	滑走細菌症	2			1					1			2	2		6
	ピブリオ病					1										3
	白点病					1										1
	スクーチカ症 不明	1	1		2	2		1	2							1
スギ	イリドウイルス病	2		1										1	1	3
	ベネデニア症		1		2	1	1	2						1	1	2
	不明															8
ブリ	連鎖球菌症										1			1		2
	不明				2											2
カンパチ	白点病					1										1
	不明						1						1			2
スジアラ	イリドウイルス病								1							1
チンシラー	鰓カリグス症							1								1
ハマフエフキ	スクーチカ症					1										1
	不明							1								1
ヤイトハタ	(イリドウイルスチェック) (VNNチェック)												(1)			(1)
	ベネデニア症								1				(1)			(1)
	単生類							1								1
シロチョウガイ	不明						2		1							3
クロチョウガイ	不明						1	1	1							3
クルマエビ	PAV (PAVチェック)	1 (1)	(2)	(7)	9 (10)	17 (26)	7 (14)	1 (4)			2 (3)		(1)		(1)	37 (69)
	ピブリオ病						1									1
	フサリウム症 原生動物	1												1		1
計		(7)	(4)	(11)	(19)	(33)	(24)	(9)	4	(5)	(8)	5	(2)	(131)		

\*1: 県単独事業